



小麦

開花期の曇天、低温響く

2022年の小麦生産は平年並みか下回る作柄で、過去2番目の収量と豊作に恵まれた昨年と比べると厳しい1年になった。

ホクレン帯広支所によると、今年産の販売量は、主力の中力品種「きたほなみ」が約17万ト、パンなどに使われる超強力品種「ゆめちから」が約2万トで、合計約19万トになった。昨年の26万トを大きく下回った。

昨秋のは種作業は順調に行われ、根雪が遅かったため生育は進んで越冬前の茎数は平年を上回った。しか



天候不順に悩まされたが収穫作業は適期に終わった(7月、音更町)

し、今年は5月下旬から6月上旬にかけて出穂、開花期の気温が低く、実が成長する登熟期間の7月も曇天や雨天が続ぎ、実の粒形が細い小麦傾向が目立った。6月下旬、7月上旬の大雨と強風で倒伏した畑は品質も低下した。

南部のベテラン農家は「登熟する7月に天気が優れず、養分が根や茎に使われて、実まで十分に回らなかった」とみる。大事な時期に天候不順に苦しんだが、収穫作業は適期に行われた。



ジャガイモ

小玉傾向も収穫後半は回復

ジャガイモは、7月や8月上旬に日照時間が少なかった影響などで、1株当たりの個数は多いものの肥大が進まず、小玉傾向となった地域や畑があった。地中にでんぷんを蓄えるための光合成が十分に進まなかったことなどが考えられる。雨が多くて滞水した畑では、腐食したイモが目立った。

8月は晴れた日が続かず畑になかなか入れず、収穫の遅れも心配

されたが、9月に天候が回復すると作業は挽回した。収穫が本格化した9月以降のジャガイモは、1個当たりの大きさも回復して、おおむね平年並みの水準に戻った。収穫作業は平年より早く終わった。

生食用、加工用などを合わせた管内のジャガイモ生産は、道内の4割以上を占めて地区別で全道一の産地となっている。



大きさなどによって分けるジャガイモの選別作業(9月、芽室町)



農業は電気代がかかる。

電気だけに頼らず、自然エネルギーを活かしたアイスシェルターで貯蔵。

アイスシェルターなら電気を使わずにこんなことまで出来る

- ①農産物の貯蔵 ②糖度向上栽培
- ③食肉熟成 ④抑制栽培

アイスシェルターなら
CO₂排出ゼロ。
しかも夏も冬も
0℃通年で貯蔵



たとえば
十勝産じゃがいも「ひかる」を
アイスシェルターで熟成貯蔵

アイスシェルター内の温度0.8〜2℃、湿度90〜98%の環境の中で、6ヶ月間熟成貯蔵。収穫時の4%の糖度が11%になりました。



脱炭素チャレンジカップ2021
環境大臣賞金賞受賞
(企業・自治体部門)



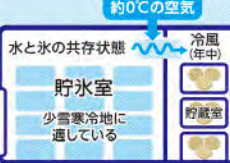
平成30年度
地球温暖化防止活動
環境大臣表彰
技術開発・製品化部門



平成29年度
新エネルギー大賞
氷を貯蔵した千年氷室
新エネルギー財団会長賞

氷の冷熱利用の特長 【アイスシェルターの原理】

貯蔵庫を二室構造にし、凍結・融解熱を有効に利用することで、貯蔵室を一年を通じて、低温・高湿度環境に維持することができます。



約0℃の空気
水と氷の共存状態
冷風(年中)

容器に水を入れておくため、半永久的に利用が可能。
雪のように
堆入などの
労力が不要

※写真はイメージです。

稼働中の一例

- 佐々木ファーム [雨前湖町]
- チーズ工房タカラ [新茂別町]
- 東洋食肉販売株式会社 [帯広市]
- 農産物貯蔵庫 [モンゴル・ウランバートル市]



Think globally Act locally
株式会社 土谷特殊農機具製作所

本社/帯広市西21条北1丁目3番2号(西帯広工業団地)
TEL.0155-37-2161 FAX.0155-37-2751 tsuchiyanoki.com
札幌支店/帯広営業所/釧路営業所/中標津営業所/北見営業所/八雲営業所/興部出張所

HPIはこちら

